

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生とその終息について

この度は、タムス浦安病院における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、入院中の患者さま及び職員に複数の感染者が発生し、多くの方々にご迷惑とご心配をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

当院では、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行を受けて、院内での感染防御体制を定期的に見直し、その質の向上に努めてまいりました。

しかし、7月10日に院内での感染が判明いたしました。

この事態に対処するため、直ちに院内にコロナ対策チームを立ち上げるとともに、厚生労働省クラスター対策班、千葉県庁（健康福祉部、医療調整本部、市川保健所）からのご支援をいただきながら、新型コロナウイルス感染症クラスターの終息に向けて努力してまいりました。

院内での新型コロナウイルス感染症の発生は、入院患者さま、職員を含めて7月21日以降はみられていません。

また、新しい患者さまを迎えるにあたって、感染に対する安全性をより高めるため、清掃・消毒を実施いたしました。

このような状況から、厚生労働省クラスター対策班、千葉県庁関係部署、市川保健所の方々にもご相談し、新たな感染症発生がみられなくなってから14日間を経過した8月4日には院内での新型コロナウイルス感染症のクラスターは「終息した」と判断いたしました。

患者さまの治療にご協力いただいた感染症指定医療機関・協力医療機関の先生方をはじめ、当院に対し医療資材などのご提供をいただいた方々、激励のお言葉、お手紙をいただいた方々に厚く御礼申し上げます。

今後は、当院に新たに入院される患者さまには、抗原検査を受けていただき新型コロナウイルスの感染の可能性が低いことを確認するとともに、今までにも増して、手指衛生・環境消毒などの感染予防対策の教育・実践を徹底し、患者さまに安全な医療を安心して受けていただけるよう、職員一同一丸となって努力してまいります。

皆さまのより一層のご理解とご支援をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

2020年8月4日

タムス浦安病院

院長 河野 陽 一